

上人ヶ浜海岸の使い方

上人ヶ浜海岸の利用について、別府市立上人幼稚園と特定非営利活動法人ウォーターセーフティーマネジメント協会（WSMA）の2団体にお話を伺いました。

○団体の利用実態について

- ・幼稚園では年4回上人ヶ浜を利用し、内1回は6月～7月あたりに磯遊びをしている。
- ・WSMAでは、小学生を対象とした年1回の「海辺の自然学校 みんなの磯」（磯での体験学習）と年3回の「オーシャン・ミュージアム」（ビーチクリーンと拾ったゴミを使った工作）のイベントを開催している。
- ・両団体とも、小学生や幼稚園児を対象に、1回に参加者30名程度の規模で利用しており、場所は上人ヶ浜公園の芝生前や別府市美術館前の磯場を利用している。
- ・磯遊びでは、ニナなどの貝拾いやカニ採り、ワカメなどの海藻採りなどを行っている。

○周辺住民の利用実態について

- ・3月から5月頃の週末を中心に、南部エリア、中央エリアあたりで、周辺住民の家族連れ等が潮干狩りをしている姿が多く見られる。
- ・南部エリアは磯遊びに適し、中央エリアのほうは砂地もあり潮干狩りや貝採りに適している。
- ・夏には亀川漁港から打ち上げる花火の鑑賞、秋には月見にも利用されている。

○上人ヶ浜を利用する理由

- ・唯一の自然の磯場がある。
- ・自然の生物が豊富である。（ニナ、ワカメ、イソガニ、ヒライソガニ、イソガニダマシ、ホンヤドカリ、イソスジエビ、アゴハゼの赤ちゃん、ヒザラガイ、タチジマイソギンチャク、イシダタミガイ、クモヒトデ 等）
- ・背後が公園で建物も少なく、見通しがきく。
- ・婦人会館や別府市立美術館などオリエンテーションや雨天時の雨宿りなどが出来る施設がある。

○上人ヶ浜の利用上の問題点、今後の海岸整備に期待すること

- ・自然の磯を保全、活用した整備が望ましい。
- ・子供たちの安全を確保することが第一条件であり、見通しがきくことがもっとも重要である。南部エリアは護岸が立ち上がり見通しがきかないため、現状では遠足やイベントなどでは利用しづらい。
- ・ただし、周辺住民の家族連れの場合中央エリアあたりまで利用しているので、公園前面の自然豊かな海岸が北側にも続くような整備であれば利用も増えるだろう。
- ・消波ブロックが撤去され護岸が整備されると、海岸がより利用しやすくなる。また、人の目があることで背後施設に対して防犯効果があるのではないかと。

○その他

- ・婦人会館や別府市立美術館など施設があると団体で利用しやすい。
- ・駐車場が不足している。

お知らせ

第3回ワークショップは3月17日に開催致します。このワークショップで平成20年度の検討は終了致しますが、平成21年度も引き続き、「検討会」と「ワークショップ」による検討を進めていきます。今後ともご協力の程、宜しくお願いいたします。

※別府港海岸の整備に関する情報は下記別府港湾・空港整備事務所ホームページに随時掲載していきます。是非ご覧下さい。 <http://www.beppu-port.go.jp/>



オーシャン・ミュージアムでのビーチクリーン



別府市美術館でのオリエンテーション



海辺の自然学校での磯遊び
※上載写真は平成19年の活動、WSMA提供



別大付属幼稚園の磯遊びの様子

別府里浜づくり新聞

第24号
平成21年
3月11日

第3回別府港海岸整備計画検討会を開催しました



検討会の概要

検討会では、第2回検討会での主要意見とその対応、上人ヶ浜地区の背後施設及び海岸を利用する団体へのヒアリング結果について事務局より報告し、確認して頂きました。続いて、ワークショップで座長を務める菅委員より第1回ワークショップの概要を報告して頂きました（詳細は、別府里浜づくり新聞第23号を参照ください）。

技術検討の報告では、護岸と潜堤に対する整備方針を整理し、沖側にのみ潜堤を整備する場合（一重堤）と沖側と岸側に潜堤を整備する場合（二重堤）の2案を提示しました。また、計画検討の報告では、現状の利用や景観を整理し、技術検討で提示した2案について、整備により護岸の形状や海側の景観がどのように変化するかを説明しました。説明には、空間のイメージを具体的に示すために、VR（バーチャルリアリティ）を用いました。

討議では、海岸の公共性とその利用について、事務局から提示した整備方針や整備案について、さらに、今後のワークショップの進め方についてなど、委員の皆様から、さまざまなご意見を頂きました。

検討会では、次年度、流況等の詳細な調査を実施し、技術的な条件を再整理した上で、整備案について検討を進めることが確認されました

今後は以下の考え方で検討を進めていくことが確認されました。

- 現地の潮流や海底地形を把握するため、流況調査や深淺測量等の詳細な調査の実施、及び護岸の老朽化や耐震性補強等の検討により、技術的な条件を再整理する。
- 護岸改良の必要性、また、既存の消波ブロックの撤去あるいは残置、潜堤の構造、防護水準の設定等は、今年度の検討内容及び来年度実施する調査結果を受けて、継続して検討する。
- 特に、半円形広場部分については、周囲の眺めが良く、自然の磯場が残り、上人ヶ浜公園に連続し、背後に建物がないという地理的条件から、構造を部分的に変えることも検討する。
- 今後の検討は、ワークショップにおいて整備計画案について十分に議論を重ね、地域の方の合意形成を図りながら進めていく。

別府港海岸(上人ヶ浜地区)の整備計画の策定にあたり、行政、学識経験者及び住民代表からなる第3回別府港海岸整備計画検討会を、平成21年2月17日(火)午後3時より、ホテルニューツルタにて開催しました。

検討会では、第1回ワークショップの報告に加え、前回の第2回の検討会の議論を踏まえ、全体の整備の方向性を確認しました。また、中央部、南部エリアについて整備案を提示し、各提案について検討して頂きました。

<第3回 別府港海岸整備計画検討会会次第>

1. 開会
2. 議事
 - (1) 第2回検討会の意見と対応
 - (2) 第1回ワークショップの報告
 - (3) 技術検討の報告
 - (4) 計画検討の報告
 - (5) 第2回ワークショップについて
 - (6) 今後のスケジュール
3. その他
4. 閉会



小島委員長の挨拶の様子



VRを用いた説明の様子

